

三浦半島久比里出船

手軽に楽しむ浅場の根魚  
東京湾のカサゴ上昇気配

撮影●伊井泰洋



▲20センチ前後がアベレージ



▲風が弱まり潮が緩んだ後半は良型が目立った



●良型の引き味は重量感たっぷり



●カサゴは淡泊な白身でどんな料理にしてもおいしい



▲イネゴチとホウボウが交じった



▲胴つき2本バリにオモリ25号が標準仕掛け

◀夫婦橋のたもとが山下丸の船宿&船着き場



●根掛かりに気を付けながら底を探っていく



り身 ◀エサはサバの切り身



▲最盛期の夏場は水深10メートルを切る浅場を狙うこともある



●昨日最大27センチ

(詳細は54ページ参照)

水深10〜30メートル前後で狙える手軽な根魚釣りの代表選手といえはカサゴ。カサゴを専門に狙う乗合船は広い地域から出船しているが、中でも軒数が多いのは東京湾。4月中旬ごろからの模様は上昇傾向にあり、サイズは大中小交じりながらいい日はトップ30〜40尾と申し分ない釣れっぷり。

三浦半島久比里から出船した取材日のポイントは竹岡沖の水深25〜30メートル前後。前半は北風が強く波もあり釣りづらかったが、魚の活性は高いようであたりは頻繁に訪れ好調ぶりを見せつけた。ズンズンと重量感のあるカサゴの引きを味わいたいビギナーにもおすすめだ。



三浦半島久比里・山下丸  
山下 克範船長